



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月6日

上場会社名 株式会社 日本製鋼所
 コード番号 5631 URL <http://www.jsw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 宮内 直孝

(氏名) 程田 厚哉

TEL 03-5745-2001

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	54,704	22.9	6,987	53.8	8,031	77.7	6,873	113.7
2018年3月期第1四半期	44,510	△9.4	4,542	33.4	4,519	24.3	3,215	29.8

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 5,405百万円 (31.8%) 2018年3月期第1四半期 4,099百万円 (471.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	93.53	—
2018年3月期第1四半期	43.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	305,286	122,066	39.6
2018年3月期	297,365	118,600	39.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 120,800百万円 2018年3月期 117,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	17.50	—	20.00	37.50
2019年3月期	—				
2019年3月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年 3月期の連結業績予想(2018年 4月 1日～2019年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,000	8.2	11,000	9.0	11,000	6.3	10,000	31.7	136.07
通期	230,000	8.6	23,000	11.8	23,000	4.0	18,000	68.0	244.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	74,292,607 株	2018年3月期	74,292,607 株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	802,554 株	2018年3月期	802,503 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	73,490,081 株	2018年3月期1Q	73,491,089 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報に基づき当社が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(その他特記事項)

当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分の変更を実施したため、前連結会計年度の期首に当該セグメント変更が行われたものとし、各種数値を算定しております。詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報.....	9
受注高、売上高及び受注残高の状況	
(1) 受注高.....	9
(2) 売上高.....	9
(3) 受注残高.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の経営成績の状況、財政状態の概要等は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、新中期経営計画（JGP2020）の策定に合わせ、経営資源再配分による適正化を図り新たな成長基盤の整備を進めるため、セグメント区分の変更を実施しております。これに伴い、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 （セグメント情報等）」をご参照ください。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における海外経済は、欧米先進国や中国で堅調な個人消費と輸出拡大に支えられた経済成長が継続し、資源価格上昇と輸出拡大に支えられた新興国経済でも景気持ち直しの動きが続くなど、全体として緩やかな成長が継続しました。わが国経済も、雇用環境の改善や輸出の拡大などを背景に緩やかに成長しましたが、貿易摩擦の拡大が輸出企業に与える影響への懸念など、先行きに対する不透明感が生じております。

このような状況のもと、当社グループでは「産業機械で『成長』、素形材・エネルギーは『新生』」をコンセプトとして掲げ、本年5月に策定した2020年度までの3ヵ年の新中期経営計画（JGP2020）に沿って、①経営資源の最適化とアライアンスの強化、②アフターサービス（ストック型ビジネス）の強化、③新事業探索、育成の活性化の3つを基本方針とした事業活動を推進しております。

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は、産業機械事業、素形材・エネルギー事業がともに増加したことから、659億8百万円（前年同期比26.8%増）となりました。売上高につきましても、産業機械事業、素形材・エネルギー事業がともに増加し、547億4百万円（前年同期比22.9%増）となりました。損益面では、営業利益は69億87百万円（前年同期比53.8%増）、経常利益は80億31百万円（前年同期比77.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68億73百万円（前年同期比113.7%増）となりました。

主要なセグメント別の業績は次のとおりであります。

（産業機械事業）

受注高は、FPD装置の減少があったものの、樹脂製造・加工機械および成形機が増加したことから、529億84百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

売上高は、FPD装置の減少があったものの、樹脂製造・加工機械および成形機が増加したことから、446億48百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

営業利益は、売上高の増加やコスト改善などにより、64億23百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

（素形材・エネルギー事業）

受注高は、電力・原子力製品が減少したものの、クラッド鋼管の増加などにより、110億72百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

売上高は、電力・原子力製品が減少したものの、クラッド鋼板・鋼管が増加したことなどにより、87億70百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

営業利益は、固定費の圧縮、売上高の増加や売上製品構成の変化などにより、11億60百万円（前年同期比618.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比79億20百万円増加し、3,052億86百万円となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金などの流動資産が増加したためであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比44億54百万円増加し、1,832億19百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金などの流動負債が増加したためであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比34億66百万円増加し、1,220億66百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したためであります。自己資本比率は39.6%（前連結会計年度末は39.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における実績および最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月14日に公表いたしました2019年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2018年8月6日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,032	85,688
受取手形及び売掛金	54,542	56,612
商品及び製品	2,027	2,050
仕掛品	54,663	55,560
原材料及び貯蔵品	5,191	5,383
その他	5,710	5,480
貸倒引当金	△142	△135
流動資産合計	201,024	210,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,400	14,669
機械装置及び運搬具（純額）	5,689	5,520
その他（純額）	12,228	12,052
有形固定資産合計	33,317	32,243
無形固定資産		
のれん	509	430
その他	1,265	1,566
無形固定資産合計	1,774	1,996
投資その他の資産		
投資有価証券	34,670	33,581
その他	26,981	27,225
貸倒引当金	△402	△400
投資その他の資産合計	61,249	60,406
固定資産合計	96,341	94,645
資産合計	297,365	305,286
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,957	58,309
短期借入金	12,004	12,074
未払法人税等	2,296	2,611
前受金	18,843	19,681
風力事業損失引当金	3,365	3,063
事業再構築引当金	6,389	5,550
その他の引当金	2,608	2,663
その他	14,954	16,726
流動負債合計	115,418	120,681
固定負債		
長期借入金	39,268	39,258
引当金	75	66
退職給付に係る負債	10,046	10,088
資産除去債務	1,364	1,370
その他	12,591	11,753
固定負債合計	63,346	62,538
負債合計	178,765	183,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,694	19,694
資本剰余金	5,467	5,339
利益剰余金	86,256	91,660
自己株式	△2,310	△2,311
株主資本合計	109,107	114,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,269	6,418
繰延ヘッジ損益	305	△88
為替換算調整勘定	△21	△328
退職給付に係る調整累計額	370	415
その他の包括利益累計額合計	7,923	6,416
非支配株主持分	1,569	1,266
純資産合計	118,600	122,066
負債純資産合計	297,365	305,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	44,510	54,704
売上原価	33,103	40,509
売上総利益	11,407	14,194
販売費及び一般管理費	6,864	7,207
営業利益	4,542	6,987
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	392	427
持分法による投資利益	—	88
雑収入	423	595
営業外収益合計	825	1,123
営業外費用		
支払利息	67	60
持分法による投資損失	1	—
雑損失	779	18
営業外費用合計	847	79
経常利益	4,519	8,031
特別利益		
固定資産売却益	6	1,747
その他	1	235
特別利益合計	8	1,982
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	2	26
特別損失合計	3	26
税金等調整前四半期純利益	4,524	9,987
法人税、住民税及び事業税	881	2,915
法人税等調整額	364	130
法人税等合計	1,246	3,046
四半期純利益	3,278	6,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,215	6,873

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	3,278	6,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	511	△851
繰延ヘッジ損益	183	△394
為替換算調整勘定	△2	△338
退職給付に係る調整額	127	47
その他の包括利益合計	821	△1,536
四半期包括利益	4,099	5,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,020	5,366
非支配株主に係る四半期包括利益	79	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したことに伴い、株式会社ジーエムエンジニアリングを持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号)2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業機械事業	素形材・ エネルギー事業	その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	36,186	7,167	1,156	44,510	—	44,510
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	221	761	896	1,880	(1,880)	—
計	36,408	7,929	2,053	46,391	(1,880)	44,510
セグメント利益(営業利益)	4,812	161	45	5,019	(476)	4,542

(注) セグメント利益の調整額△476百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業機械事業	素形材・ エネルギー事業	その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	44,648	8,770	1,285	54,704	—	54,704
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	207	810	834	1,852	(1,852)	—
計	44,856	9,580	2,120	56,557	(1,852)	54,704
セグメント利益(営業利益)	6,423	1,160	70	7,654	(666)	6,987

(注) セグメント利益の調整額△666百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、組織改正にあわせた管理体制の見直し及び不動産賃貸事業の縮小を行い、従来の「不動産その他事業」を「その他事業」へ変更しております。

この変更により、従来「産業機械事業」に含まれていた成膜事業を扱う連結子会社の事業セグメントを「その他事業」へ、「素形材・エネルギー事業」に含まれていた風力発電機器、結晶事業を扱う連結子会社の事業セグメントを「その他事業」へ、「不動産その他事業」に含まれていた不動産賃貸事業に係る売上高・売上原価を営業外収益・営業外費用での管理へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に組み替えたものを表示しております。

3. 補足情報

受注高、売上高及び受注残高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第1四半期連結累計期間 (2017年4月1日～2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年6月30日)
産業機械事業	42,022	52,984
素形材・エネルギー事業	8,155	11,072
その他の事業	1,810	1,850
合 計	51,988	65,908

(2) 売上高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第1四半期連結累計期間 (2017年4月1日～2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年6月30日)
産業機械事業	36,186	44,648
素形材・エネルギー事業	7,167	8,770
その他の事業	1,156	1,285
合 計	44,510	54,704

(3) 受注残高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第1四半期連結累計期間 (2017年4月1日～2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年6月30日)
産業機械事業	131,647	150,735
素形材・エネルギー事業	37,937	46,018
その他の事業	1,659	1,537
合 計	171,244	198,291